

2025年度 共同利用 公募情報

(必ず募集団体のホームページの内容をご確認ください。)

NO.046	2026年度 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館 共同研究
募集団体名	国立民族学博物館
団体締切日	2026年4月10日（金）までに必着 ※部局提出の切日は欄外を確認下さい。
対象者	<p>●一般 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、日本国内に在住し、かつ大学その他の研究機関の常勤の教授、准教授、講師、助教、助手、または、これと同等の研究能力があると館長が認めた者（ただし、本館以外の人間文化研究機構内の機関に専任教員として所属する者を除く。）です。</p> <p>●若手 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、日本国内に在住する研究者であり、申請時 39 歳以下で、共同研究を遅滞なく遂行する能力をもつ者とします。研究代表者以外の共同研究構成員の条件については、特に定めませんが、その趣旨に添い、基本的には研究代表者と同様の年齢層の若手研究者等で構成されるものとします。</p> <p>※詳細は、募集要領をご確認ください。</p>
募集概要	<p>●目的 国立民族学博物館は、創設以来今日に至るまで、大学共同利用機関として、我が国の学術研究の総合的推進を目指し、文化人類学・民族学および関連諸科学の発展に貢献する高度なレベルの共同研究を推進してきました。 近年、本館に対して、文化人類学・民族学および関連諸分野を含む新しい研究の創出、一般社会から寄せられる期待への積極的対応が求められています。そのような多様な研究の推進をめざして共同研究を募集します。 共同研究は一般と若手のふたつの区分を設けており、共同研究（若手）は、若手研究者を育成・支援することを目的としています。</p> <p>●共同研究（一般・若手）のカテゴリー カテゴリー1：新領域開拓型 文化人類学・民族学および関連諸分野を含む幅広いテーマを対象とし、挑戦的で、新領域開拓につながる研究。基礎的研究や萌芽的研究、地域を設定した特有の課題に関する研究も含む。</p> <p>カテゴリー2：学術資料共同利用型 本館の所蔵する資料（標本資料、文献資料、映像音響資料等）に関する研究。広い意味で展示につながる共同研究も含む。</p>
備考	※所属機関の部局長の承認を得た、承諾書の提出が必要です。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。

※部局提出の切日：西千葉地区事務部研究推進課：財団等切日の10営業日前  
 亥鼻地区事務部研究推進課：財団等切日の10営業日前  
 附属病院研究推進課：財団等切日の14営業日前  
 (営業日は本部研推に準ずる)  
 松戸地区事務部総務係：財団等切日の5営業日前  
 柏の葉地区事務部：財団等切日の7日前